

令和3年7月2日

保護者様

三木市立吉川小学校  
校長 長谷川 珠里

## 吉川小学校開校を迎えて（12）

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力を頂き深く感謝いたします。

さて、本校が開校して3カ月が過ぎましたが、保護者や地域の皆様のおかげで、落ち着いた学校生活を過ごす事ができています。

開校後の様子やご協力いただきたい事などを、前回まで（4/16付から6/25付まで計11回）に引き続き、これからも少しずつお伝えしていきますので、ご確認をお願いします。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。必要に応じて、ご確認ください。

### Ⅰ 新型コロナウイルス感染症対策と学びの継続

#### （1）7月5日（火）黒豆の苗植え

吉川小学校では総合的な学習の時間等を使って、地域の方のご協力を得ながら体験活動を充実させていく予定です。今回は3・4年生で黒豆の苗植え（180本程度）を校外の畑をお借りして実施します。

「子ども達のために・・・」という思いで、吉川町の「ようしょう会」にご協力いただいております。「ようしょう会」の紹介（ホームページより）は以下のとおりです。

兵庫県三木市吉川町内産農産物直売  
ようしょう会



#### 【基本理念】

農と食 環境と福祉をテーマにした健康・安全の地域づくり

- ①土づくりを基本とした持続可能な安全で環境に優しい農業の実現
- ②生産から加工・流通・販売・消費に至る 食一貫システムの構築
- ③農業を核とし、商・工・観光等とも連携した地域複合産業の形成
- ④エコロジーとエコノミーが調和した農業 農村文化の再生
- ⑤すべての人々が健やかに生きる社会への対応

メイドイン吉川をつくろう 農業の未来を輝かせるため、緑豊かな自然を守りつづけながら栽培した高品質の農産物を皆様にお届けします。

3年生は環境体験事業として、4年生は昨年度体験できなかった（新型コロナウイルス感染症対策等のため）ので、一緒に活動します。準備物等は各学年でお知らせしますので、ご準備ください。

提供いただいている畑は若宮神社近くの「稲田営農の圃場」です。苗植え後は近くを通られる際に、黒豆の生育を子ども達と見て頂けるとさらに学習を深められると思います。継続した学びになりますようご協力をお願いします。

## (2) 6月23日(水) オンライン学習 6年生

三木市歴史資料館にご協力いただいて、歴史学習(三木市合戦)をオンラインで行いました。専門家の方から学べる貴重な機会となりました。



## 2 吉川小学校の歌づくり

登校してから朝の会が始まるまでの時間や業間、昼休みには、第2図書室(コモンホール)に置いているピアノを奏でる子ども達があります。そして、その音色を楽しそうに聞いている子ども達もいて皆が集える場となっています。



このピアノは閉校した上吉川小学校から受け継いだものです。元々、この校舎(閉校したみなぎ台小学校)には、音楽室と体育館にピアノがありましたが、この場所に自由に弾けるピアノとして設置しました。

第2図書室(コモンホール)はよく響くオープンスペースです。

子ども達が楽しそうに集って、流行りの曲や校歌等を弾いている様子を見て、新しく開校した「吉川小学校の歌」を子ども達と共につくる事にしました。(校歌とは別です)

歌詞に入れたい言葉を公募し、曲も有志に作ってもらおうと思います。1学期には1番、2学期には2番、3学期には3番を考えています。



### 3 学年会計の口座振替手続きについて

6月24日付の文書でもお伝えしていますが、吉川小学校では吉川中学校と同様に学年会計は口座振替としています。

毎月28日（休業日の場合は翌営業日）を振替日としていますので、前日までの入金にご協力ください。初回の振替日は7月28日となっていますので、ご準備をお願いします。

なお、振替ができなかった場合は学校から連絡をし、現金をお持ちいただく事となります。特に初回は予定されていた額よりも高額になっている場合もあるかと思っておりますので、再確認をお願いします。

### 4 紫陽花の挿し木について



閉校したみなぎ台小学校には紫陽花の大きな木がありましたが、バスのロータリー工事の際に無くなってしまいました。そこで、閉校した中吉川小や上吉川小、統合予定の東吉川小から紫陽花を受け継ごうと計画をしています。

1人1枝の挿し木をして、育つのを見守っていきましょうと思っています。みなぎ台小の紫陽花も少し離れた所に小さな花が1つ咲いているのを見つけました。統合前の4校分が揃います。

### 5 三木市立教育センターからのお知らせ

#### 【教育センター専門研修講座開催のご案内】

この度教育センターでは、漫才作家でNSC（吉本総合芸能学院）講師の本多正識先生をお迎えし、「人を育てるといふこと～笑おうね 生きようね～」の講演を行います。

本講座は、教職員対象の研修ですが、保護者の皆様にもきっと参考になるところが多いと思われます。会場に多少の余裕がありますので、興味のある方はふるってご参加ください。お申し込みは、教育センターへ直接お電話ください。

なお、この講座については、小学校・中学校・特別支援学校の保護者の皆様へのみの案内となります。

日時：令和3年8月26日（木）14時～16時

場所：教育センター 大研修室

申込：教育センター（0794-83-2020）9:00～17:00

締切：令和3年7月30日（金）

6 『フォートナイト』等のオンラインゲームで子どもに起きている5つのトラブルと保護者がすべき対策について(高橋暁子 成蹊大学客員教授/ITジャーナリスト引用)

「吉川小学校開校を迎えて(11)」の続きです。

コロナ禍で子どものネット・ゲーム利用時間が増加しており、それに伴ってオンラインゲームの問題も増加している。中でもよく話題となるのが、『フォートナイト』などのバトルロイヤル系ゲームだ。どのような問題が、なぜ起きるのだろうか。『フォートナイト』を例に、トラブル事例とそれに対して保護者ができる対策までをご紹介します。

小学生を対象としたゲームのゲームに関するアンケート調査(2020年6月)によると、小学生が一番遊んでいるゲームタイトルは『フォートナイト』(22.1%)だった。『フォートナイト』などのオンラインゲームで遊んでいる小中学生はとて多く、ある講演先の中学校では1年生の3分の1ほどが利用していた。『フォートナイト』は、オンラインで100人まで戦え、最後の生き残りをかけて戦うバトルロイヤル系ゲームだ。

近年、『フォートナイト』の他、『荒野行動』『エーペックスレジェンズ』などのバトルロイヤル系ゲームは小中高生などの子どもの間で人気となっているが、トラブルが多発していることでもよく知られる。これらのゲームの多くは、ボイスチャットできる、つまり話しながらプレイできるという特徴がある。

子どもの間でトラブルが多発し、問題が学校に持ち込まれる例は増えている。暴言からの仲間はずれ、いじめ問題がこのようなオンラインゲームをきっかけに、どのようなトラブルが起きているのだろうか。

※次回の「吉川小学校開校を迎えて(13)」で続きを紹介します。

先日、ある保護者との話の中で、オンラインゲームの事が話題になりました。オンラインゲームをしていると、時間の管理ができなくなるのでゲーム機を取り上げているとの事です。

子どもは「みんなしているから」と言うそうですが、「みんなとは誰か」と問いただし、やらせていないというお話でした。

皆様のご家庭ではどのように管理されていますか。オンラインゲームを始めとしたインターネットを介したゲームの流行スピードや進化はとて速いと感じます。保護者や私達教職員も知らない事が増えているのではないのでしょうか。加えて、その事に伴う問題点も同様です。

学校だけではなく保護者どうしや学校と保護者、そして専門家を交えた対応が求められていると感じます。ご意見等がありましたら、個人懇談等でお伝えください。